



2021年8月4日

各 位

会社名 戸田工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 寶來 茂
(コード番号 4100 東証第1部)
問合せ先 経営企画室長 友川 淳
(TEL. 082-577-0055)

営業外収益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)におきまして、下記のとおり営業外収益を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表しました2022年3月期の連結業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

当第1四半期連結累計期間において、当社の持分法適用関連会社の利益計上に伴い、持分法による投資利益 390 百万円を営業外収益として計上いたしました。

2. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2021年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------|---------------|------------|------------|----------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 14,000 | 百万円 500 | 百万円 800 | 百万円 500 | 円 銭 86.75 |
| 今回修正予想 (B) | 16,000 | 1,000 | 1,500 | 1,200 | 208.21 |
| 増減額 (B-A) | 2,000 | 500 | 700 | 700 | — |
| 増減率 (%) | 14.3 | 100.0 | 87.5 | 140.0 | — |
| (ご参考)前期実績 (2021年3月期第2四半期) | 13,381 | △473 | △568 | △725 | △125.87 |

3. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 30,500 | 百万円 1,400 | 百万円 1,800 | 百万円 1,200 | 円 銭 208.20 |
| 今回修正予想 (B) | 31,000 | 1,700 | 2,400 | 1,800 | 312.32 |
| 増減額 (B-A) | 500 | 300 | 600 | 600 | — |
| 増減率 (%) | 1.6 | 21.4 | 33.3 | 50.0 | — |
| (ご参考)前期実績 (2021年3月期) | 29,024 | 11 | △600 | △4,142 | △718.76 |

4. 業績予想修正の理由

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、基幹事業である磁石材料及び着色材料を中心に当初の想定を上回る受注があり、好調に推移する見込みです。特に、複写機・プリンター向け材料は国内外での需要が高まっており、磁石材料及び誘電体材料(チタン酸バリウム)においては自動車の電動化に伴う市場の拡大により、当初の予想よりも売上が伸長しております。また、当初は下期に計上することを見込んでいた売上の一部が上期に前倒しになる見込みとなったこともあり、売上高は当初の予想を大きく上回る見通しとなりました。

利益面におきましては、売上増に伴う利益の増加や利益率の高い製品の売上が伸長していること等に伴い、営業利益が増加する見込みです。また、営業外収支において、持分法適用会社の収益が好調に推移しており、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表予想を上回る見通しとなりました。

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、半導体不足による自動車市場への影響、原燃料の高騰、コンテナ不足による海上輸送費の高騰等の懸念があるものの、年間を通しては売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回る見通しとなりました。

以上のことから、当社グループの第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上